

2017 年 7 月 11 日

平成 29 年 8 月期 第 3 四半期の決算概要

- 装置関連事業は、大型ライン案件や改造案件でほぼ予定通りの売上を計上。環境関連事業は、検査装置の販売が弱めに推移したものの、検査サービスの売上は順調。
- 原価低減努力および営業努力により、高い利益率を達成。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2Q に計上した特別損失により、446 百万円。
- 大型ライン案件に関する債務の決済や利益の積み上げ等により、自己資本比率は前期末の 48% から 58% に向上。

1. 第 3 四半期連結業績（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日）（単位：百万円）

	平成 28 年 8 月期 3Q		平成 29 年 8 月期 3Q		前年同期比 増減額
	金額	対売上比	金額	対売上比	
売上高	873	-	3,894	-	3,021
売上総利益	296	33.9%	1,420	36.5%	1,124
販売費および一般管理費	735	84.2%	692	17.8%	△43
営業利益	△438	△50.2%	727	18.7%	1,165
経常利益	△499	△57.2%	657	16.9%	1,156
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△409	△46.8%	446	11.5%	855

2. セグメント別業績（単位：百万円）

	装置関連事業		環境関連事業	
	金額	対売上比	金額	対売上比
売上高	3,727	-	167	-
営業利益	1,108	29.7%	△16	△9.6%

注）セグメントは今期より「装置関連事業」と「環境関連事業」に変更されたため、前年同期比は記載しておりません。

3. 通期連結業績予想（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

売上高は、装置関連事業の一部案件の売上計上時期が来期にずれ込む見通しとなり、前回予想より下がる見込み。一方、原価低減努力および営業努力により、利益は前回予想を上回る見通し。利益率の高い案件の後押しもあって上振れが予想されるため、本日業績予想を修正。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回業績予想	5,261	477	343	128	5.85
今回業績予想	4,828	561	464	252	11.45
前期実績	3,996	116	81	△122	△5.57